

# 第8回「先輩と語る」講演会

## 細胞のシグナル伝達系に介在するGタンパク質-三量体Gタンパク質 Gi の発見からGタンパク質が果たす役割の拡大に向けて

演者：堅田 利明さん（17期生）

東京大学大学院薬学系研究科教授

日時：10月9日（金）18:00-19:30

場所：北海道大学薬学部臨床薬学講義室

主催：北海道大学薬学部

共催：日本薬学会北海道支部

後援：北海道大学薬学部同窓会

堅田利明さんは、昭和49年薬学部（薬効学講座：現薬理学）卒業後、教務職員に採用され、助手を経て、昭和62年に東京工業大理学部助教授（平成元年から教授）の後、平成9年から東京大学薬学系研究科教授。その間、昭和57年から2年間テキサス大学Gilman研究室に留学し彼のノーベル賞受賞に貢献。Gタンパク質研究の中心として活躍中。

本講演会では、先ず北大薬学部でのGiタンパク質発見の経緯に触れながら、各種Gタンパク質ファミリーについて概説し、一次構造や生化学的性状、また組織・細胞内局在の視点から、アтипカルな新規低分子量Gタンパク質ファミリーについても最近の知見を紹介していただきます。これまで、製薬企業研究、国家公務員や薬剤師でご活躍の卒業生に講演していただきましたが、本日は、北大出身のアカデミックでご活躍中の堅田先生にお話をお願いしました。皆様のご来聴をお待ちしております。

連絡先：北大大学院薬学研究院薬化学研究室 松田 彰（011-706-3228）